

By Asaf Ohayon

Facebookについては□に□く□の□ことが□られてきた。□□でもっとも□□したソーシャル・ネットワ□クである、□□□で□に□□□もの□々が□□している、□□□□ドル□□の□□がある、マイクロソフト□が2□4000□ドルを□□して1.6□の□□を□□した、などなど。

しかしその□きな□□、□□、□を□く□□の□々の□に、ひとつの□□が□かんでくる□-□なぜ□

□々はなぜ□に□うよりもインスタントメッセージやSMS、サイト□の□□や□□で□□するのを□むの□だろう□

□□□□□□□□□□□□□□□□

Facebookはネット□でも□□の□である。□もが□□を□やし、□しいアプリケーションを□□し、□□を□□し、□□をアップロードする。ソーシャルネットワークにはまり、ネット□での□□に□□□も□やしていると□くのインターネットユーザーが□□に□めている。



とができ、そして□□□、□□□□に□□らしく□□った□□を□□□に□□せることができる。

とっておきのカッコいい□□、たくさんの□め□□や□□・□□□で□□をアピールしているが、それは□□の□□にある□□□-□□たちの□□もが□□している、カバラで□□うところの“□□□□unity□”への□□を□□り□□っているのかもしれない。

□□□□□□□

Facebook□□、カバラも□□□□のつながりに□□く□□わっている。カバリストたちが□□くには、□□、□□たちは□□□□の□□から□□る1つの□□きな□□の□□でつながっている。そこで□□たちは1つの□□□□な□□として、□□れることなく□□いが□□びついた□□で□□しているのだ。

ところが□□□の□□□で□□□□の□□□□な□□を□□できなくなり、□□いに□□びついているということを□□じられなくなってしまった。そして□□しさと、□□たちの□□に□□かが□□けているという□□□が□□じた。□□、それを□□う□□、かつて□□じていた□□□□と□□を□□とか□□り□□す□□を□□たちは□□し□□けている。

□□のところ、□□□□という□□々々をFacebookのようなソーシャル□□ネットワークへと□□かわせているのは、□□々々が□□□□□□に□□っている、かつて□□□□の□□□□でつながっていた□□□□の□□□□なのだ。ネットワーク□□では□□や□□□、その□□□□々々な□□い□□を□□えて□□いにつながる□□ことができる。しかしこれは□□□□の□□□□なつながりに□□せかけたものにすぎず、□□□□の□□□□□□への□□□□を□□たすものではない。

□□□□□□□□

□□の□に□する□□を□げ、□々に□□□を□じさせているのは□□する□□のエゴである。エゴイズムは□□の□□を□じて□□してきたが、□□それが□□に□した。□□□□のエゴイズムはかつてない□□の□□□□をもたらしたが、□□で□々が□び□□となるのを□げもしている。その□□、つながりを□□したいと□□する□□に□い□□□を□じるのだ。

しかし□□□を□じるようになるまで、エゴに□らされた□たちは□より□れていなければならないのだと□じ□ける。エゴは□□の□□のために□いを□□し、さらには□つけるよう□々を□り□てていく。とりわけ、□□□□の□で□が□□□につながっているということを□からなくさせてしまう。

□□とつながっているという□えを□□させるのはエゴに□ならない。□たちは“□□□□”や“□□□□”といった□えを□□□□くて□わしい、□□なもの、とすら□じている。それが□びつきを□□する□□だ。

しかしどんなに□□しようとしても、□々の□□のあらゆる□□に□り□る□□、グローバル□□の□、そしてさらには□□□□の□□な□□□□によって、□たちが□いにつながり、□□し□っているという□□を□めざるを□なくなった。

いま、□々は2つの□□の□ばさみになっている。□□では□と□□に□ることを□み、□□では□づき□ぎたくはない。そこで□□ネットワークが□□な□□□□を□□してくれる。コンピューターのスクリーンの□□ろで□□を□ちながら□□という□々と□□することができるのだ。

したがってテクノロジーは□□の□□で□たちを□びつけることはない。つながりを□□のまま、つながっているかのように□じさせてくれるだけだ。しかし□とともに□まってくる□□□□は、□□□□やバーチャル・メディアでは□□□□なつながりが□□に□められている、ということ□□を□き□りにしている。

Written by jpuser

Tuesday, 20 March 2012 22:20 - Last Updated Sunday, 14 April 2019 00:24

---

□との□びつきに□する□□のニーズを□たすためには、□□□□によるものから□たちの□に□ざしたものと、□々のソーシャルネットワークを“アップグレード”しなければならない。

□□□□□□□□□□□□□□□□

□の□□は□□の□□においてかつてない□□を□えている。□たちは□□の□□の□□まであと□□というところに、これまでになく□づいた。すなわち、□々が□□する□□を□たそうとしているのだ。カバラの□□とは、まさに□□□□の□□□□、□い□えると、□ての□の□の□□くに□□する□□□□を□り□すための□□である。

しかしその□□□□を□□□□するには、□□を□□する□□を□□□□に□えなければならない。つまり□たちのエゴイズムを□□□□の□と□□の□□に□□しなければならないのだ。そうすることによって、□しい、□□なレベルでの□□を□□するだろう。

その□□□□たちはコンピューター□□の□□の□□に□れて□いのつながりを□める、という□□がなくなる。□わりに、□たちは□れもない□□□□を□じるだろう – □□は□々の□□を□じて。

[KABBALAH TODAY MAR-APR 2008, #13](#) より